

(様式3号)

学位論文の要旨

氏名 横田 恭之

〔題名〕

Does Modification of Portal Venous Blood Flow using Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration Affect the Mucosa of the Small Intestine?

(B-RTOによる門脈血流改変は小腸粘膜に影響を与えるか?)

〔要旨〕

門脈圧亢進症性小腸症はカプセル内視鏡(CE)を用いて評価することができるが、病理学的な所見は未だに不明である。肝硬変を有する患者における胃静脈瘤や肝性脳症の治療のために施行されるバルーン閉塞逆行経静脈閉塞(B-RTO)を行った後に、通常は門脈体循環シャントの閉塞により門脈圧は上昇する。本研究では、B-RTOを受けた9人の患者のCE所見をレトロスペクティブに比較を行い、門脈圧の増加が小腸粘膜に及ぼす影響を評価した。CEはB-RTOの前後に行われ、その間隔は29日から52日であった。CEの前後のred spot、angioectasia、varices、inflammatory-like lesionの変化を評価した。Red spotのスコアは6患者で上昇し、3患者で不変であった。Angioectasiaのスコアは4患者で上昇し、5患者で不変であった。VaricesはB-RTO前後どちらでも認められなかった。Inflammatory-like lesionのスコアは4患者で上昇、1患者で不変、4患者で低下であった。B-RTO後のred spot、angioectasiaのスコアの変化は統計学的に有意なものであり、B-RTOによる門脈圧の亢進は小腸粘膜に変化を及ぼすことが示された。

学位論文審査の結果の要旨

医学系研究科応用分子生命科学系 (医学系)

報告番号	甲 第 1481 号	氏 名	横田 恭之
論文審査担当者	主査教授	山崎 隆弘	
	副査教授	永野 浩志	
	副査教授	坂井 功	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) Does Modification of Portal Venous Blood Flow using Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration Affect the Mucosa of the Small Intestine? (B-RTO による門脈血流改変は小腸粘膜に影響を与えるか?)			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) Does Modification of Portal Venous Blood Flow using Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration Affect the Mucosa of the Small Intestine? (B-RTO による門脈血流改変は小腸粘膜に影響を与えるか?) 掲載雑誌名 Gastroenterology, Hepatology and Endoscopy 2016 volume 1(3): 54-58 (2016 年 掲載)			
(論文審査の要旨) 門脈圧亢進症性小腸症はカプセル内視鏡(CE)を用いて評価することができるが、病理学的な所見は未だに不明である。肝硬変を有する患者における胃静脈瘤や肝性脳症の治療のために実行されるバルーン閉塞逆行経静脈閉塞 (B-RTO) を行った後に、通常は門脈体循環シャントの閉塞により門脈圧は上昇する。本研究では、B-RTO を受けた9人の患者のCE所見をレトロスペクティブに比較を行い、門脈圧の増加が小腸粘膜に及ぼす影響を評価した。CEはB-RTOの前後に行われ、その間隔は29日から52日であった。前後のCEのred spot, angioectasia, varices, inflammatory-like lesionの変化を評価した。Red spotのスコアは6患者で上昇し、3患者で不変であった。Angioectasiaのスコアは4患者で上昇し、5患者で不変であった。VaricesはB-RTO前後どちらでも認められなかった。Inflammatory-like lesionのスコアは4患者で上昇、1患者で不変、4患者で低下であった。B-RTO後のred spot, angioectasiaのスコアの変化は統計学的に有意なものであり、B-RTOによる門脈圧の亢進は小腸粘膜に変化を及ぼすことが示された。			
本研究は、B-RTO前後でCEを施行することにより、門脈圧の上昇に伴う小腸粘膜の変化に関する初めての報告であり、門脈圧に関連する病態の中でも最も情報の少ない小腸に関して、重要なevidenceをもたらした論文である。よって、学位論文として価値あるものであると認められた。			

備考 審査の要旨は800字以内とすること。